

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり宮の沢			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた個別課題	学校からの宿題のフォローはもちろん個々に合わせたプリントや療育グッズを使用し課題を行う 「出来た！」と自信につながるよう心がけている	療育グッズを拡充し、飽きないような工夫をしていく
2	外活動の充実	季節を感じながら活動できるようイベントに参加したり、外出場所を決めている 基本的な体力向上やストレス発散、情緒の安定につなげていく	ご家庭ではなかなか行けないような場所にも行ってみる
3	職員間での児童の情報共有	情報共有の漏れがないように日ごろから様々な伝達方法で連絡手段を設けている 保護者からの確認事項には職員間で確認してから返答するようになっている	今後も職員間での報告・連絡・相談を大事にしていく 保護者がどの職員にも話しやすい環境づくりを心がける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流、保護者会等の開催が設けられていない	コロナ以降交流できるイベントがなくなっている 各ご家庭の様々な事情があり保護者同士の交流が難しい現状だった	地域での行事予定を確認し参加していく 保護者参加のイベントを企画し、できる範囲での参加を促してみる
2	専門的な支援	職員の専門知識やスキルに差がある 児童や保護者の多様なニーズに応えるのが難しい時がある	事業所内外の研修の強化 機関支援を活用し客観的な意見や情報をもらい支援に活かす
3			